



第33回(平成21年度)

久留米市民意識調査 報告書《速報版》



水と緑の人間都市・久留米

はじめに

現在、国も地方自治体も大きな転換期を迎え、「改革」という言葉抜きでは語れない時代になっています。「少子高齢化」「人口減少」「高齢者福祉」などの課題に直面する自治体は、限られた財源と資源をいかに活用し、どのように住民サービスの向上を図るか、その手腕が問われています。

本市におきましても、昨年4月には中核市となり、本年は、市制施行120周年を迎えました。平成17年からすすめている「久留米市新行政改革行動計画」も5年目の節目にあたり、さらに徹底した効率化、合理化に取り組み、行財政改革に鋭意努力しているところです。

しかしながら、市民の皆さんの「安心で、活力にあふれる生活」の実現のためには、行政だけではなく、「市民と行政の協働によるまちづくり」が不可欠です。そのためにも、市民の皆さんと行政の相互理解、信頼をより強固なものとし、共に汗を流し、共に行動しながらまちづくりをすすめていくことが大切であると考えています。

この「市民意識調査」は、市民の皆さんの意識や意向を、統計的、科学的に把握し、その重要性や緊急性、対策・施策の必要性を明らかにし、的確に市政運営に反映させるための、非常に重要な調査で、昭和52年から実施しています。今回は、「行政施策」「教育」「市民活動」「環境」などについて調査を実施しました。この調査結果は、それぞれの具体的な計画や施策の検討の基礎資料として、活用させていただきます。

この冊子は、単純集計したデータを「速報版」としてまとめたものです。来年3月には調査報告書を作成し、公開する予定です。

最後になりましたが、今回の調査にご協力いただきました市民の皆様をはじめ、関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

平成21年10月

久留米市長 江藤守國

目次

I 調査のあらまし	2
II 主な調査結果	4
1. 行政施策	4
2. 教育	8
3. 中心市街地の活性化	11
4. 市民活動	14
5. 環境	19
6. 基本属性	23

I 調査のあらまし

◆調査の結果は、いろいろな事業の計画づくり等に活用します◆

(1) 目的

市民意識調査は、今後の市政運営の基礎資料を得るために毎年実施しているものです。

今回の意識調査は、主に①行政施策 ②教育 ③中心市街地 ④市民活動 ⑤環境 という5つのテーマについて実施しました。

①行政施策

「久留米市新総合計画」で指標とする項目など33項目を調査しています。「重要度」と「満足度」の調査で、より科学的に市民の皆さんの意識、意向を把握できるように努めています。

②教育

いまの子どもたちをとりまく環境についてお聞きするとともに、今後の教育行政に期待することなどを把握し、第2次教育改革プランの策定の基礎資料として活用します。

③中心市街地

中心市街地への来街頻度とその交通手段の状況を把握するとともに、中心市街地を走るバスのニーズについて要望を伺い、今後、市街地の活性化に反映させるよう努めます。

④市民活動

市民の皆さんの、これまでの市民活動への参加状況をお聞きするとともに、これからの関わり方についての意識や意向を把握し、市民活動振興条例の策定の基礎資料として活用します。

⑤環境

「環境」に対する市民の皆さんの認知度や取り組み、今後の要望などを伺い、次期環境基本計画策定などの基礎資料とします。

(2) 調査方法

○ 調査地域	久留米市全域
○ 調査対象者	久留米市に在住する満20歳以上の人
○ サンプル数	2,000
○ 抽出方法	住民基本台帳からの二段無作為抽出法
○ 実査方法	調査票を郵送し、回収は調査員が行う郵送法併用の留置法 (調査票は封筒に封入したものを回収)
○ 実査期間	平成21年7月22日～7月30日
○ 回収数(率)	1,796票(89.8%)
○ 調査の企画と実施	企画 久留米市企画財政部 広報広聴課 実施 西日本新聞社 営業戦略室

(3) 地域別サンプル構成

ブロック		校区	配布数	有効回収数	有効回収率
東部	東部A (旧久留米市)	山川	40	37	92.5%
		山本	20	19	95.0%
		草野	20	18	90.0%
		善導寺	50	44	88.0%
		大橋	10	9	90.0%
	東部B (旧田主丸町)	船越	10	10	100.0%
		水分	20	17	85.0%
		柴刈	20	16	80.0%
		川会	20	19	95.0%
		竹野	20	17	85.0%
		水縄	20	19	95.0%
		田主丸	40	36	90.0%
		小森野	30	25	83.3%
北部	北部A (旧久留米市)	合川	90	86	95.6%
		宮ノ陣	60	49	81.7%
		北野	60	53	88.3%
	北部B (旧北野町)	弓削	20	18	90.0%
		大城	30	22	73.3%
		金島	20	17	85.0%
		西国分	110	104	94.5%
		東国分	80	70	87.5%
御井	60	53	88.3%		
南東部	上津	100	91	91.0%	
	高良内	70	61	87.1%	
	青峰	30	26	86.7%	
中央部	荘島	30	28	93.3%	
	日吉	40	34	85.0%	
	篠山	40	37	92.5%	
	京町	40	37	92.5%	
	南薫	70	67	95.7%	
	長門石	40	36	90.0%	
中央南部	鳥飼	60	53	88.3%	
	金丸	80	64	80.0%	
	南	110	99	90.0%	
南西部	津福	80	74	92.5%	
	荒木	80	74	92.5%	
	大善寺	50	43	86.0%	
西部	西部A (旧城島町)	安武	40	37	92.5%
		城島	30	28	93.3%
		下田	10	10	100.0%
	西部B (旧三瀨町)	青木・浮島	20	19	95.0%
		江上	20	17	85.0%
		犬塚	40	39	97.5%
		三瀨	40	35	87.5%
		西牟田	30	29	96.7%
合計		2,000	1,796	89.8%	

ブロック別	配布数	有効回収数	有効回収率
東部	290	261	90.0%
北部	310	270	87.1%
中央東部	250	227	90.8%
南東部	200	178	89.0%
中央部	260	239	91.9%
中央南部	330	290	87.9%
南西部	170	154	90.6%
西部	190	177	93.2%
合計	2,000	1,796	89.8%

旧市町別	配布数	有効回収数	有効回収率
旧久留米市	1,530	1,375	89.9%
旧4町	470	421	89.6%
旧田主丸町	150	134	89.3%
旧北野町	130	110	84.6%
旧城島町	80	74	92.5%
旧三瀨町	110	103	93.6%
合計	2,000	1,796	89.8%

本調査結果について

◎比率は百分率(%)で、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、合計の比率が0.1~0.3%程度増減することがあります。

◎2つ以上の回答(複数回答)を求めたものについては、比率の合計は100%を超えます。

◎数表、図表に示すNとは、比率を算出する上での基数(標本数)のことです。

◎本速報版は、調査結果の一部を簡潔に整理して、その概要をお知らせするものです。すべての質問についての詳細な分析や考察、使用した調査票などは、後日刊行する本報告書に掲載します。

Ⅱ 主な調査結果

1. 行政施策

(1) 施策の重要度・満足度

◆重要度得点が最も高いのは「消防・救急救命対策」で昨年と同様です。

問1 久留米市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、次の(1)～(33)の市の取り組みについておたずねします。

(A) あなたは、この取り組みが**どの程度重要だ**と思いますか。

(B) あなたは、この取り組みに**どの程度満足**していますか。

それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

■重要度・満足度の得点化の手順■

重要度	得点	満足度	得点
1. 重要	→ 6点	1. 満足	→ 6点
2. やや重要	→ 4点	2. やや満足	→ 4点
3. あまり重要でない	→ 2点	3. やや不満	→ 2点
4. 重要でない	→ 0点	4. 不満	→ 0点
5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算の対象外)	5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算の対象外)

33 項目の行政施策に対する評価を得点化し、分析を行っています。

$$\text{重要度 (満足度) 得点} = \frac{(\text{選択肢 1}) \times 6 + (\text{選択肢 2}) \times 4 + (\text{選択肢 3}) \times 2 + (\text{選択肢 4}) \times 0}{(\text{選択肢 1} \sim \text{選択肢 4 の回答者数})}$$

※例えば、仮に全員が「2. やや重要」を選んだ場合、その施策の重要度得点は4点となります。

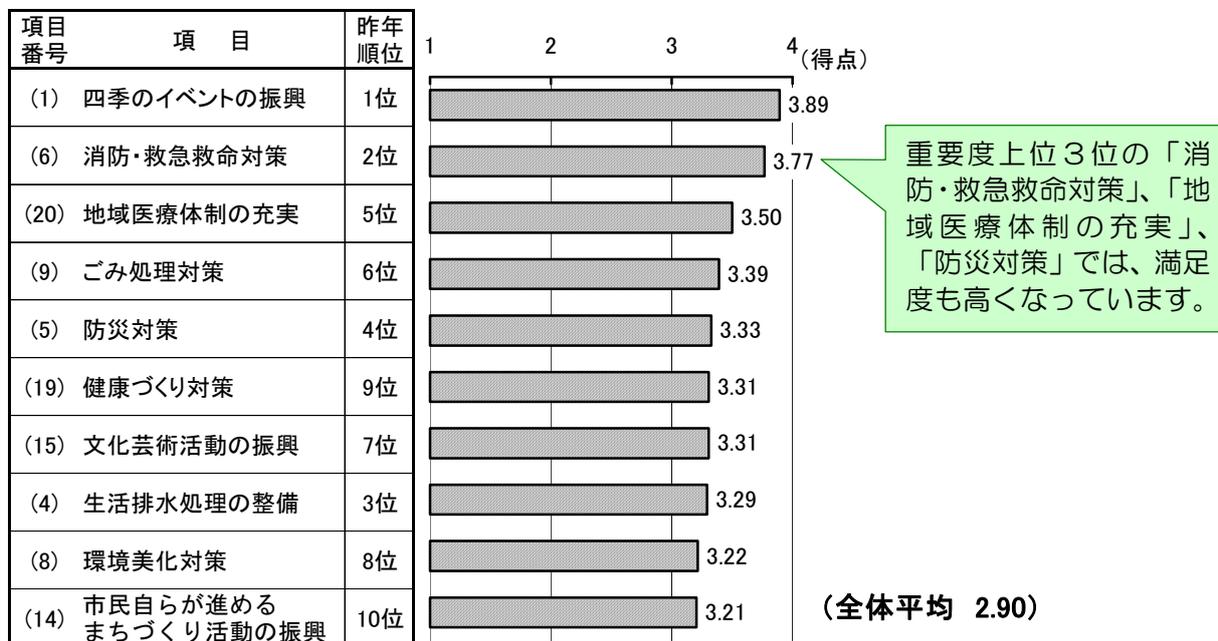
■重要度が高い10の取り組み■

項目番号	項目	昨年順位	3	4	5	6(得点)
(6)	消防・救急救命対策	1位	[Bar chart showing distribution]			5.64
(20)	地域医療体制の充実	2位	[Bar chart showing distribution]			5.59
(5)	防災対策	4位	[Bar chart showing distribution]			5.45
(7)	防犯対策	3位	[Bar chart showing distribution]			5.44
(4)	生活排水処理の整備	5位	[Bar chart showing distribution]			5.39
(22)	高齢者福祉の充実	7位	[Bar chart showing distribution]			5.35
(27)	労働・雇用対策	8位	[Bar chart showing distribution]			5.34
(9)	ごみ処理対策	6位	[Bar chart showing distribution]			5.28
(2)	生活道路や側溝の整備	9位	[Bar chart showing distribution]			5.27
(17)	子育て支援体制の充実	10位	[Bar chart showing distribution]			5.23

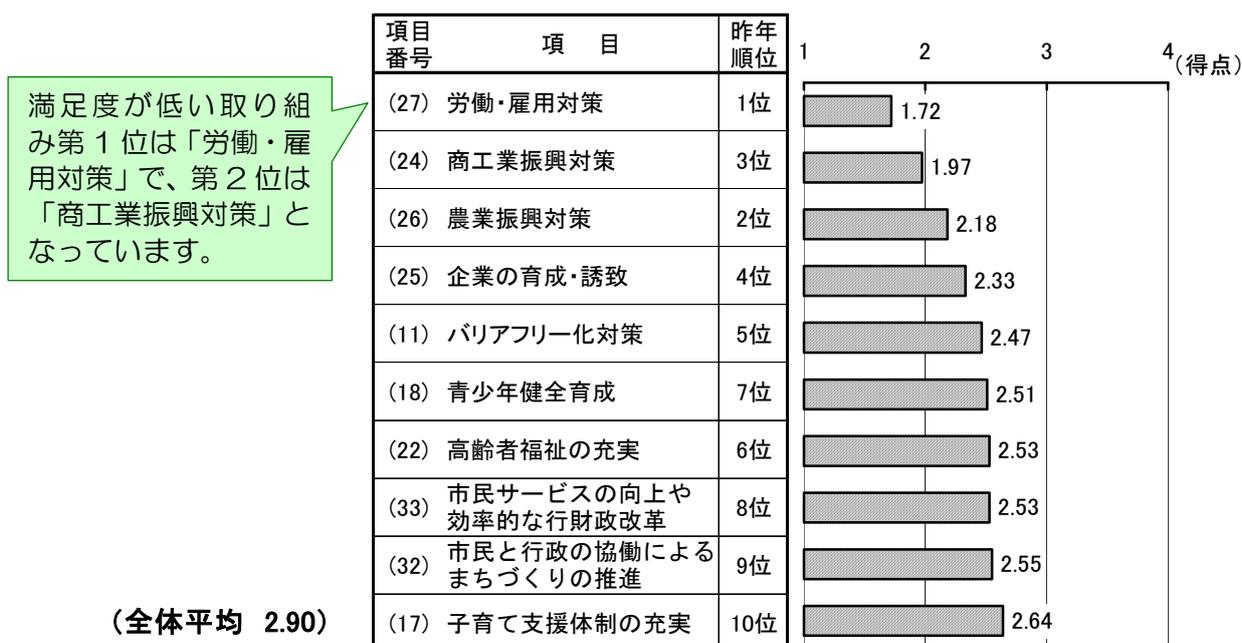
重要度では「消防・救急救命対策」が第1位で昨年度と同様。以下「地域医療体制の充実」、「防災対策」、「防犯対策」と、『市民生活の安全・安心』にかかわる取り組みが昨年同様に上位にあがっています。

(全体平均 4.81)

■満足度が高い10の取り組み■



■満足度が低い10の取り組み■



(2) 重要度・満足度の前年比較

◆満足度トップ3は、「四季のイベントの振興」、「消防・救急救命対策」、「地域医療体制の充実」となっています。

■行政施策の重要度・満足度■

重 要 度				項 目	満 足 度			
重要 度 得点	順位	H20 得点	H20 順位		満足 度 得点	順位	H20 得点	H20 順位
4.44	25	4.31	25	(1) 四季のイベントの振興	3.89	1	3.76	1
5.27	9	5.20	9	(2) 生活道路や側溝の整備	2.66	23	2.69	22
4.88	17	4.76	18	(3) 水辺空間の整備	3.13	13	3.10	11
5.39	5	5.39	5	(4) 生活排水処理の整備	3.29	8	3.33	3
5.45	3	5.41	4	(5) 防災対策	3.33	5	3.30	4
5.64	1	5.63	1	(6) 消防・救急救命対策	3.77	2	3.69	2
5.44	4	5.44	3	(7) 防犯対策	2.75	22	2.66	23
4.92	16	4.90	16	(8) 環境美化対策	3.22	9	3.15	8
5.28	8	5.33	6	(9) ごみ処理対策	3.39	4	3.22	6
4.51	24	4.40	24	(10) 公園や広場の整備・充実	3.01	15	2.99	13
4.98	15	4.84	17	(11) バリアフリー化対策	2.47	29	2.40	29
4.59	21	4.54	20	(12) 基本的な人権確立施策の充実	3.17	11	3.07	12
4.11	29	4.04	28	(13) 男女共同参画社会づくり施策の充実	3.05	14	2.98	14
4.17	27	4.06	26	(14) 市民自らが進めるまちづくり活動の振興	3.21	10	3.12	10
3.90	31	3.81	31	(15) 文化芸術活動の振興	3.31	7	3.18	7
4.12	28	4.00	29	(16) スポーツ・レクリエーション推進体制の充実	3.14	12	2.97	15
5.23	10	5.19	10	(17) 子育て支援体制の充実	2.64	24	2.61	24
5.17	11	5.09	12	(18) 青少年健全育成	2.51	28	2.46	27
5.04	14	4.96	14	(19) 健康づくり対策	3.31	6	3.14	9
5.59	2	5.49	2	(20) 地域医療体制の充実	3.50	3	3.26	5
5.07	13	5.00	13	(21) 障害者福祉の充実	2.88	19	2.70	21
5.35	6	5.26	7	(22) 高齢者福祉の充実	2.53	27	2.41	28
4.43	26	4.06	27	(23) 広域幹線道路の整備	2.81	20	2.85	19
4.72	20	4.48	22	(24) 商工業振興対策	1.97	32	2.02	31
4.52	23	4.45	23	(25) 企業の育成・誘致	2.33	30	2.33	30
5.10	12	5.18	11	(26) 農業振興対策	2.18	31	1.93	32
5.34	7	5.21	8	(27) 労働・雇用対策	1.72	33	1.80	33
4.09	30	3.89	30	(28) 大学や研究機関の整備	2.92	16	2.89	17
3.80	33	3.53	33	(29) 観光・コンベンションの振興	2.77	21	2.79	20
4.77	19	4.68	19	(30) 公共交通網の整備	2.89	17	2.89	18
3.80	32	3.66	32	(31) 高度情報都市づくり	2.88	18	2.90	16
4.58	22	4.51	21	(32) 市民と行政の協働によるまちづくりの推進	2.55	25	2.57	25
4.87	18	4.93	15	(33) 市民サービスの向上や効率的な行財政改革	2.53	26	2.53	26
4.81		4.72		【全体平均】	2.90		2.84	

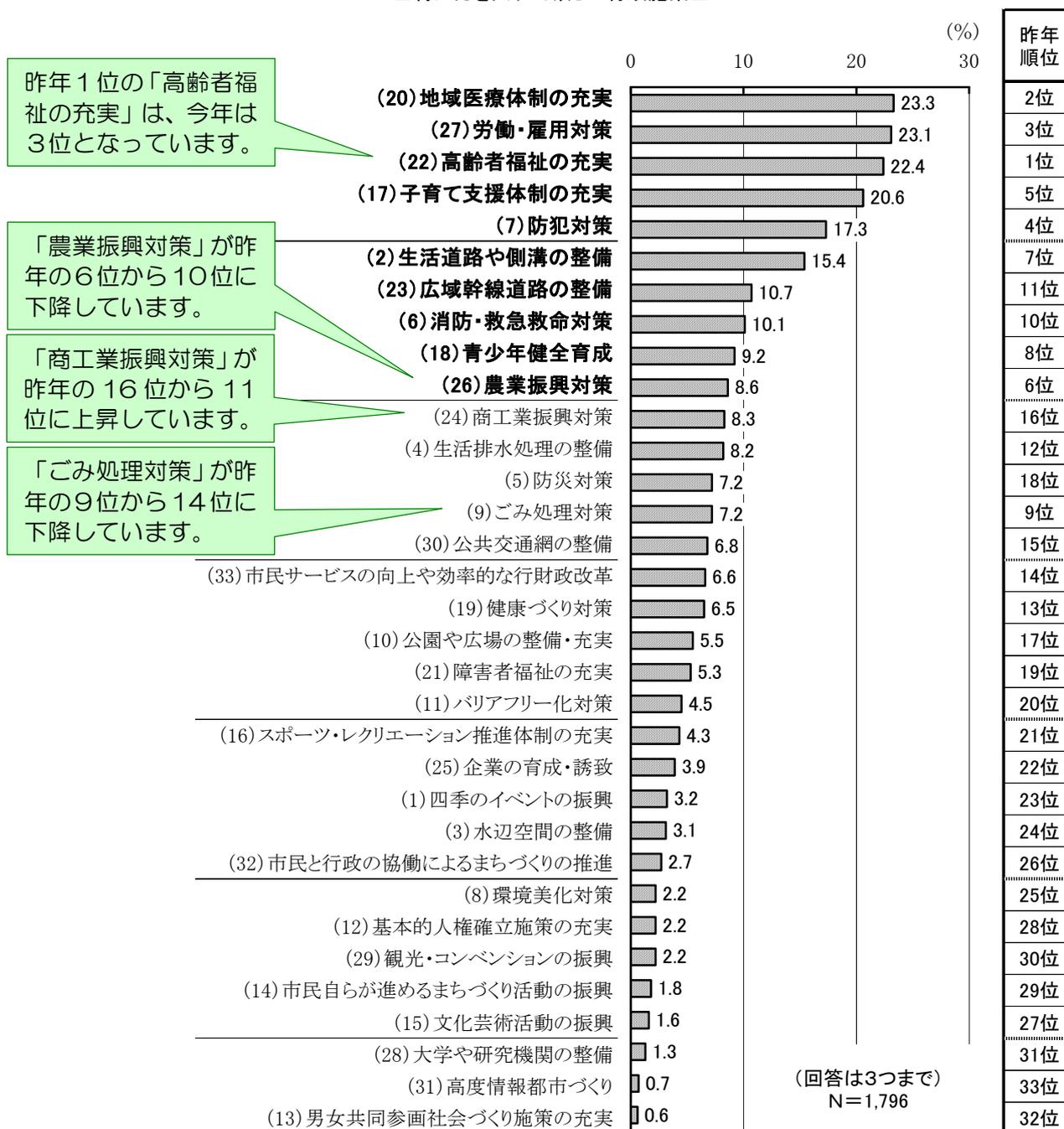
※ は、重要度、満足度の上位3位

(3) 特に力を入れて欲しいこと

◆「地域医療体制の充実」、「労働・雇用対策」、「高齢者福祉の充実」を求める声が特に多くなっています。

問2 問1で聞いた(1)～(33)の行政施策の中で、「特に力を入れて欲しいもの」を3つまで(1つでも2つでもよいです)選び、その項目の番号を下の□内に記入してください。

■特に力を入れて欲しい行政施策■

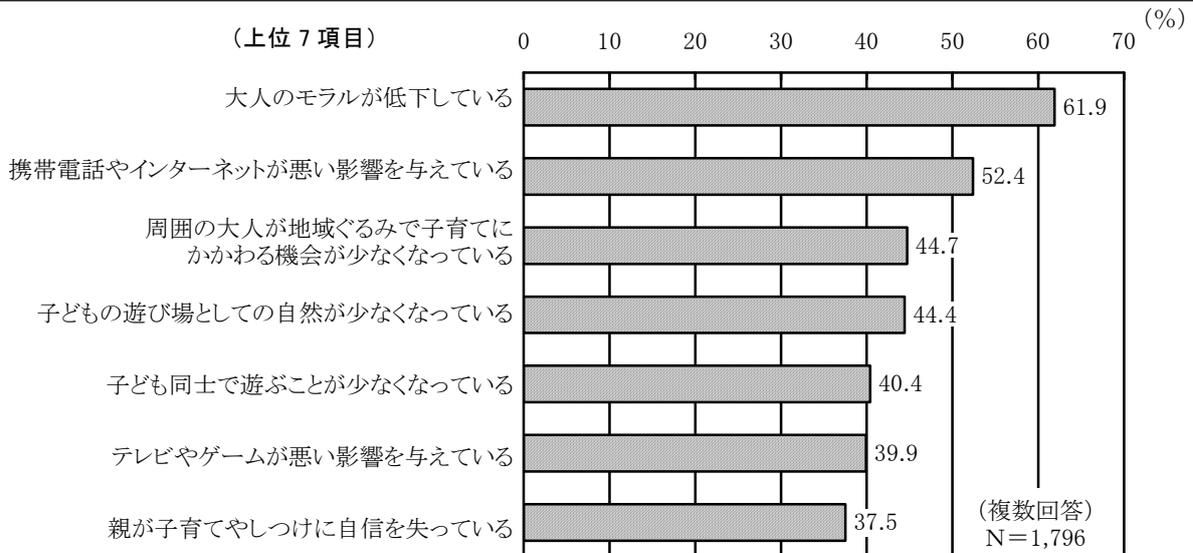


2. 教育

(1) 子どもをとりまく環境の問題点

◆「大人のモラル低下」、「携帯電話やインターネットの悪影響」をあげる人が半数をこえています。

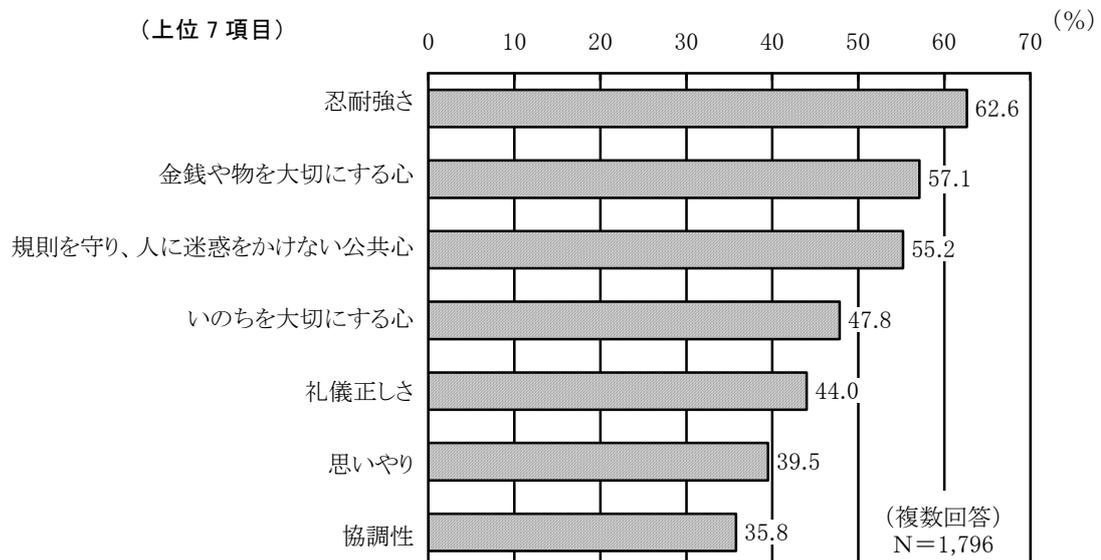
問3 いまの子どもたちをとりまく環境で、**問題になっていると思う**のはどのようなことですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選び、番号に○印をつけてください。
(ここで「子ども」とは、小・中学生をイメージしてお答えください。)



(2) 子どもたちに欠けているもの

◆「忍耐強さ」、「金銭や物を大切にできる心」、「公共心」をあげる人が半数をこえています。

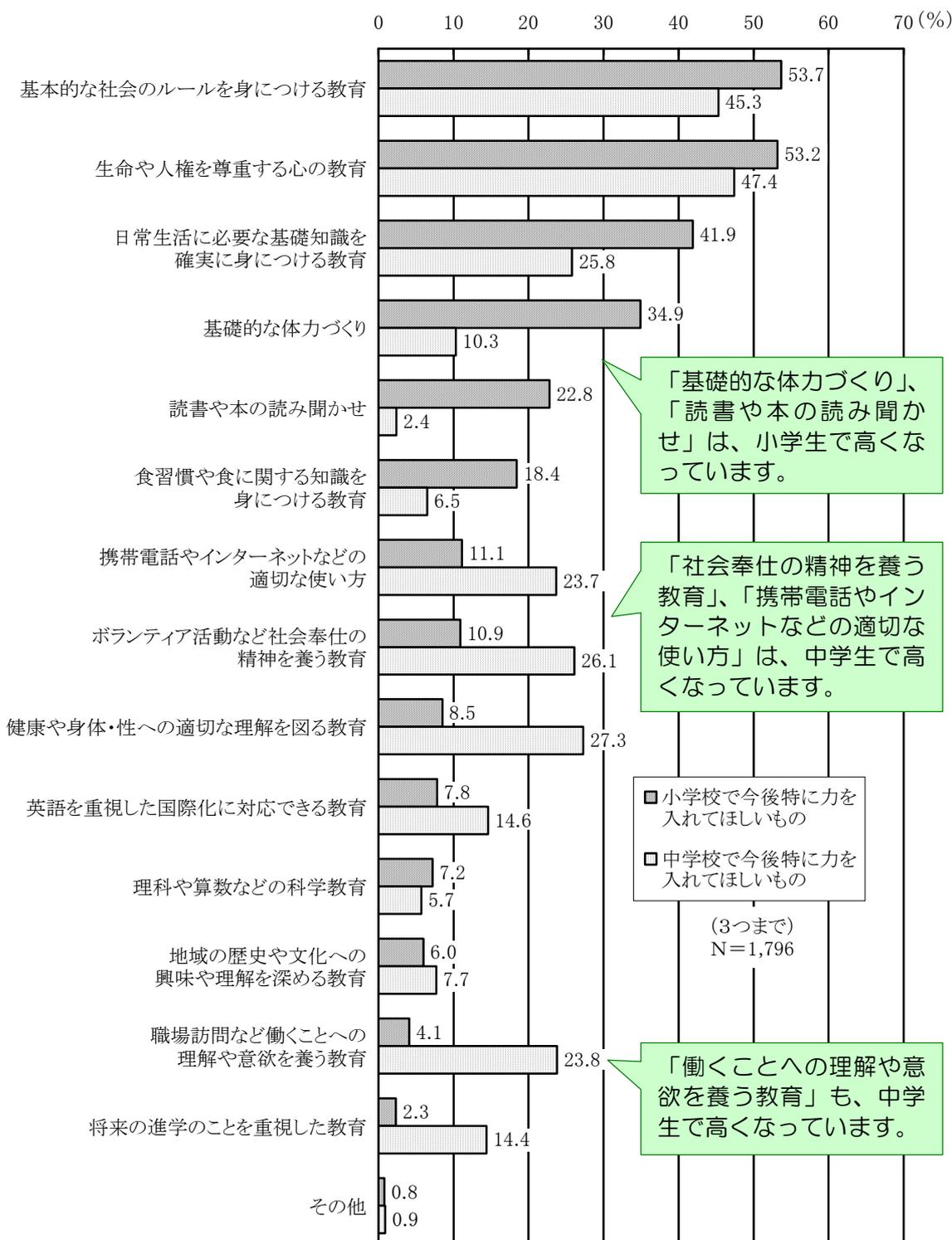
問4 あなたは、いまの子どもたちに**欠けているもの**は何だと思いますか。次の中からあてはまるものを いくつでも 選び、番号に○印をつけてください。



(3) 小・中学校において、今後特に力を入れてほしいもの

◆「基本的な社会ルール」、「生命や人権を尊重する心」の教育は小・中学校ともに上位。そのほか小学校は「日常生活に必要な基礎知識」、中学校は「健康や身体・性の理解」が多くなっています。

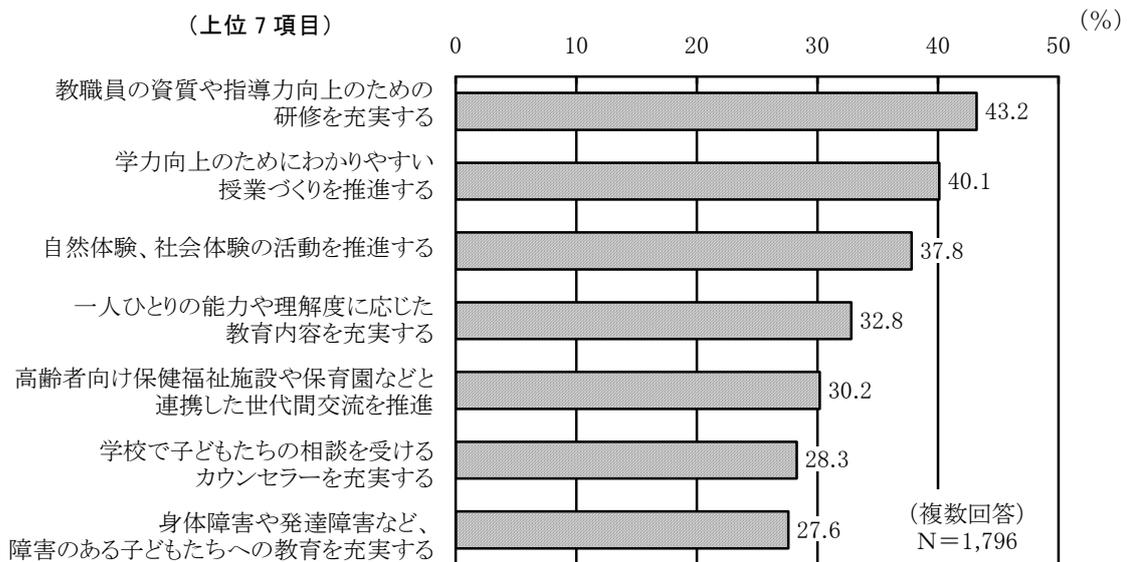
問5 久留米市の小・中学校において、今後**特に力を入れてほしい**と思われるものはどれですか。(A) 小学校・(B) 中学校のそれぞれについて、次の中からあてはまるものを 3つまで 選び、番号に○印をつけてください。



(4) 教育行政に期待すること

◆「教職員の資質や指導力向上」、「わかりやすい授業づくり」が期待されています。

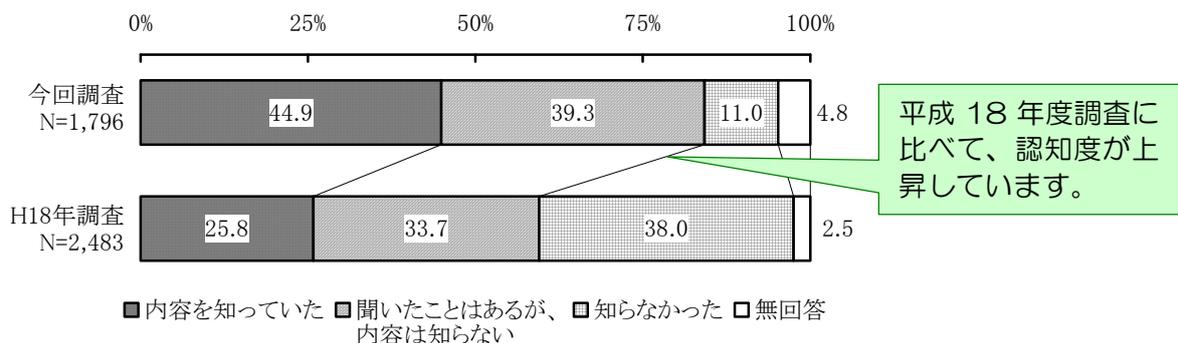
問6 あなたは、本市の教育行政に関してどのようなことを期待しますか。次の中から特に期待するものをいくつでも選び、番号に○印をつけてください。



(5) 「発達障害」の認知度

◆「発達障害」の内容を知っている割合は44.9%。

問7 あなたは、「発達障害」という言葉を知っていましたか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



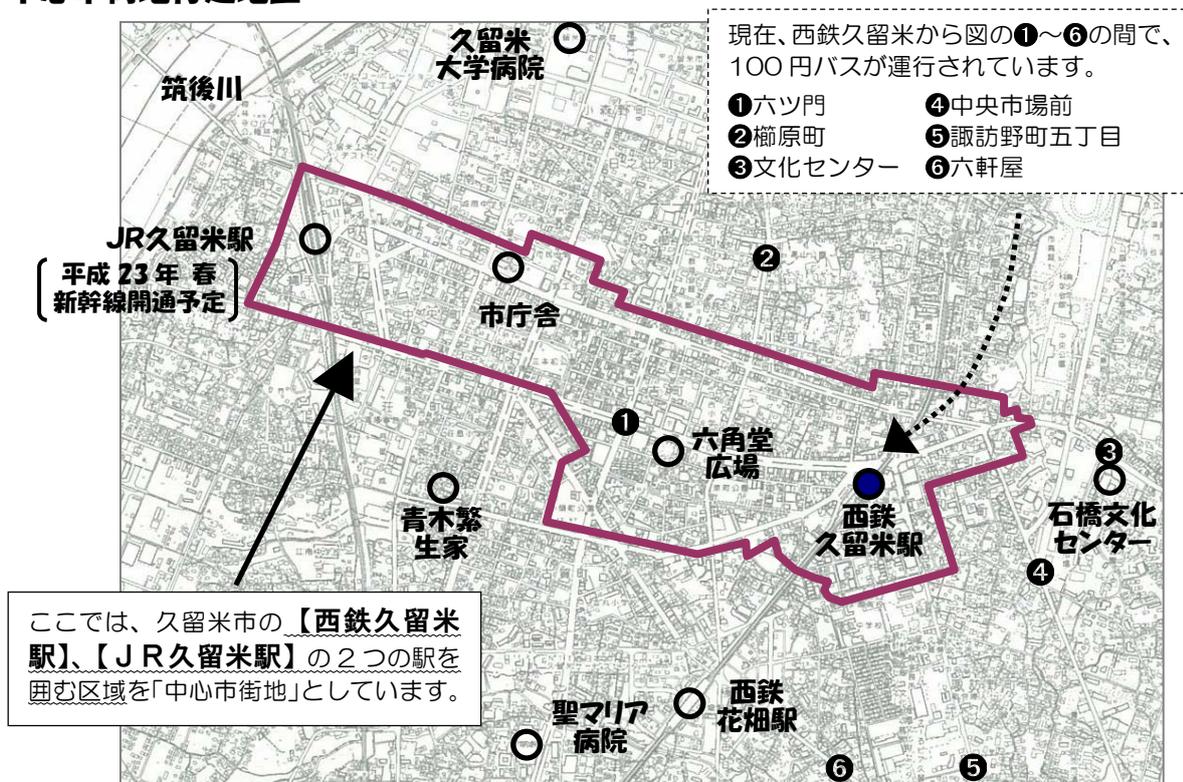
「発達障害」とは……

自閉症や学習障害、注意欠陥多動性障害などのことで、先天性の脳の機能障害が原因といわれています。

現在、発達障害などで特別な教育的支援を必要とする児童生徒は、通常の学級に約6パーセントの割合で在籍している可能性があるといわれています。

3. 中心市街地の活性化

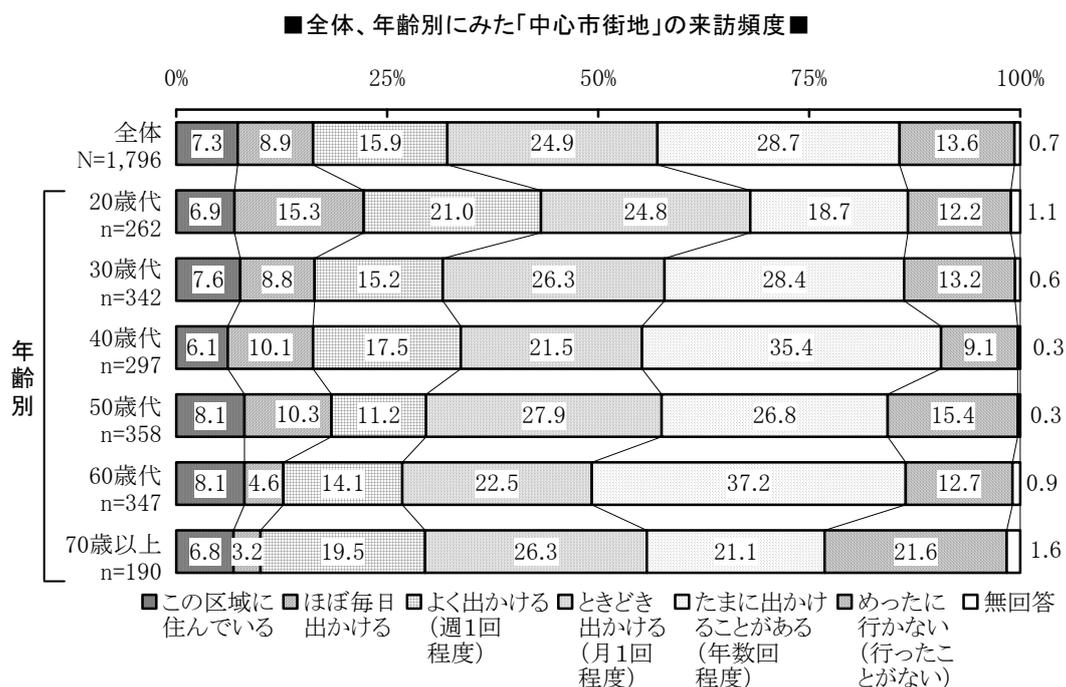
●中心市街地付近地図



(1) 「中心市街地」の来訪頻度

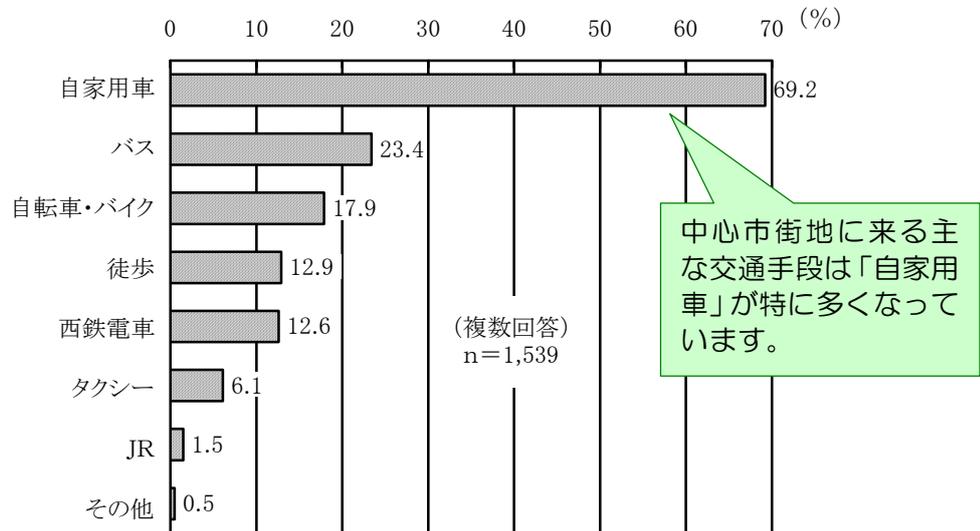
◆中心市街地に『月1回以上』出かける人は約5割。

問9 あなたは、どれくらいの頻度で「中心市街地」に来ることがありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)



問9で「この区域に住んでいる」「出かける（ことがある）」と答えた人に

付問 「中心市街地」に来る**主な交通手段**は何ですか。（あてはまる番号にいくつでも○印）
 ※問9で「1. この区域に住んでいる」と答えた方は、中心市街地での移動の時に使う交通手段を選んでください。

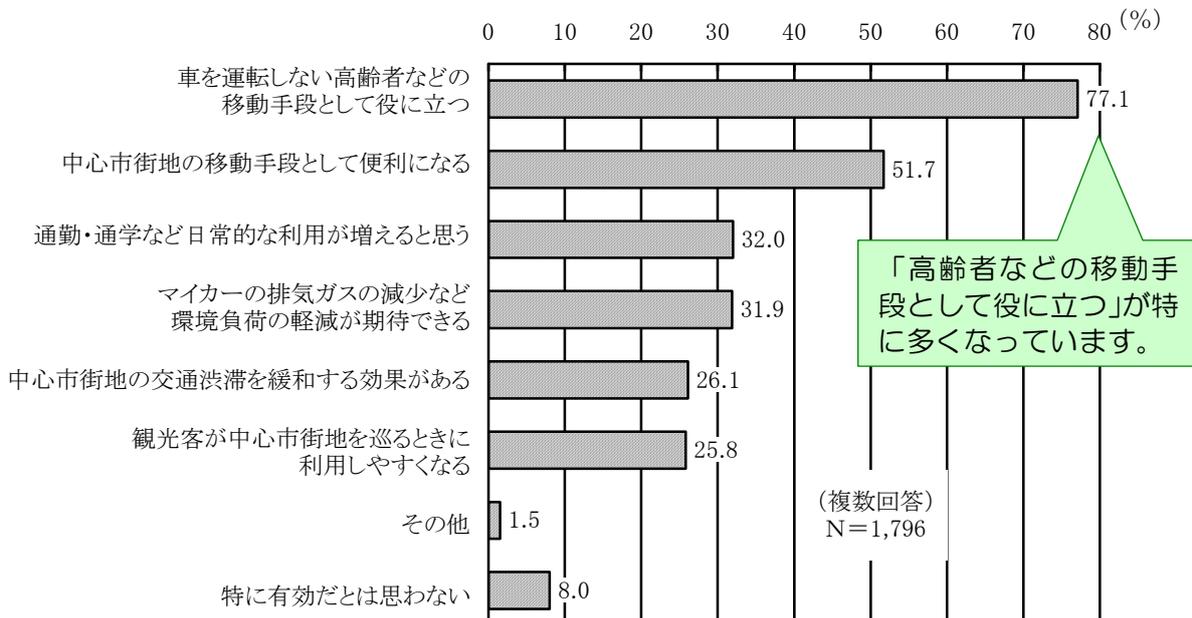


◎中心市街地の活性化、観光の振興、新幹線久留米駅の開業効果を高めるなどの施策として考えられる 100 円バス区間の延長についておたずねします。

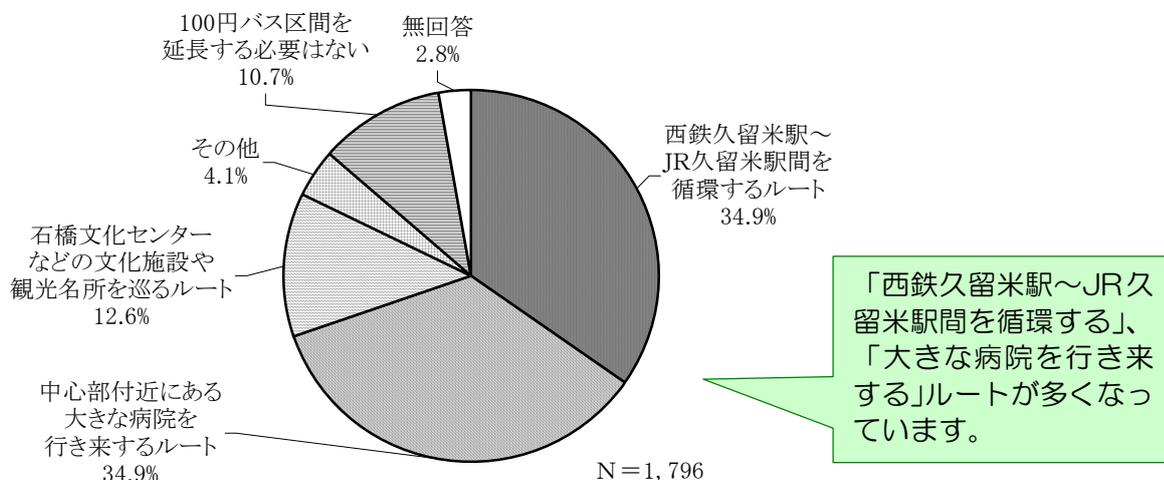
(2) 100 円バスの運行について

◆税金の補助をしても『運行すべき』という意見が約半数。

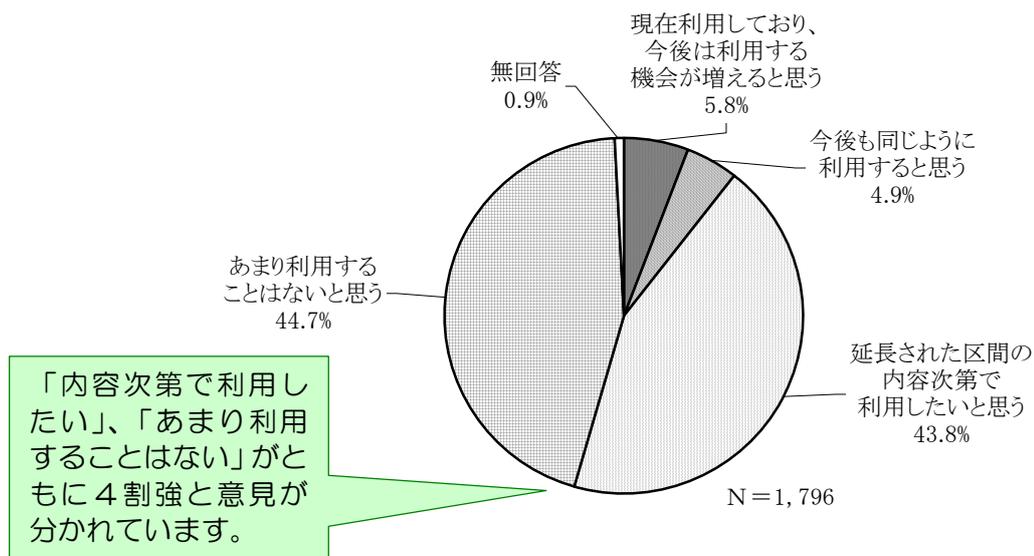
問 10 あなたは、100 円バスの区間を延長すると、特にどのような**利点**があると思いますか。次の中からあてはまるものを いくつでも 選び、番号に○印をつけてください。



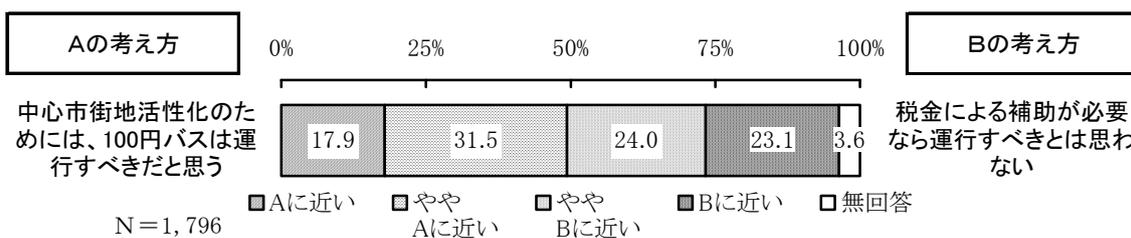
問 11 中心市街地を走るバスについて、どのような **100 円バス区間の延長（ルート）** が、あったらいいと思いますか。（あてはまる番号に 1 つだけ○印）



問 12 中心市街地の 100 円バス区間が延長された場合、あなたは **利用したい** と思いますか。（あてはまる番号に 1 つだけ○印）



問 13 100 円バス区間の延長を行う場合には、バスを運行する事業者に対して、**市が税金で補助**を行うことが想定されますが、あなたは、このことについて次の [A]、[B] どちらの意見に近いですか。（あてはまる番号に 1 つだけ○印）



4. 市民活動

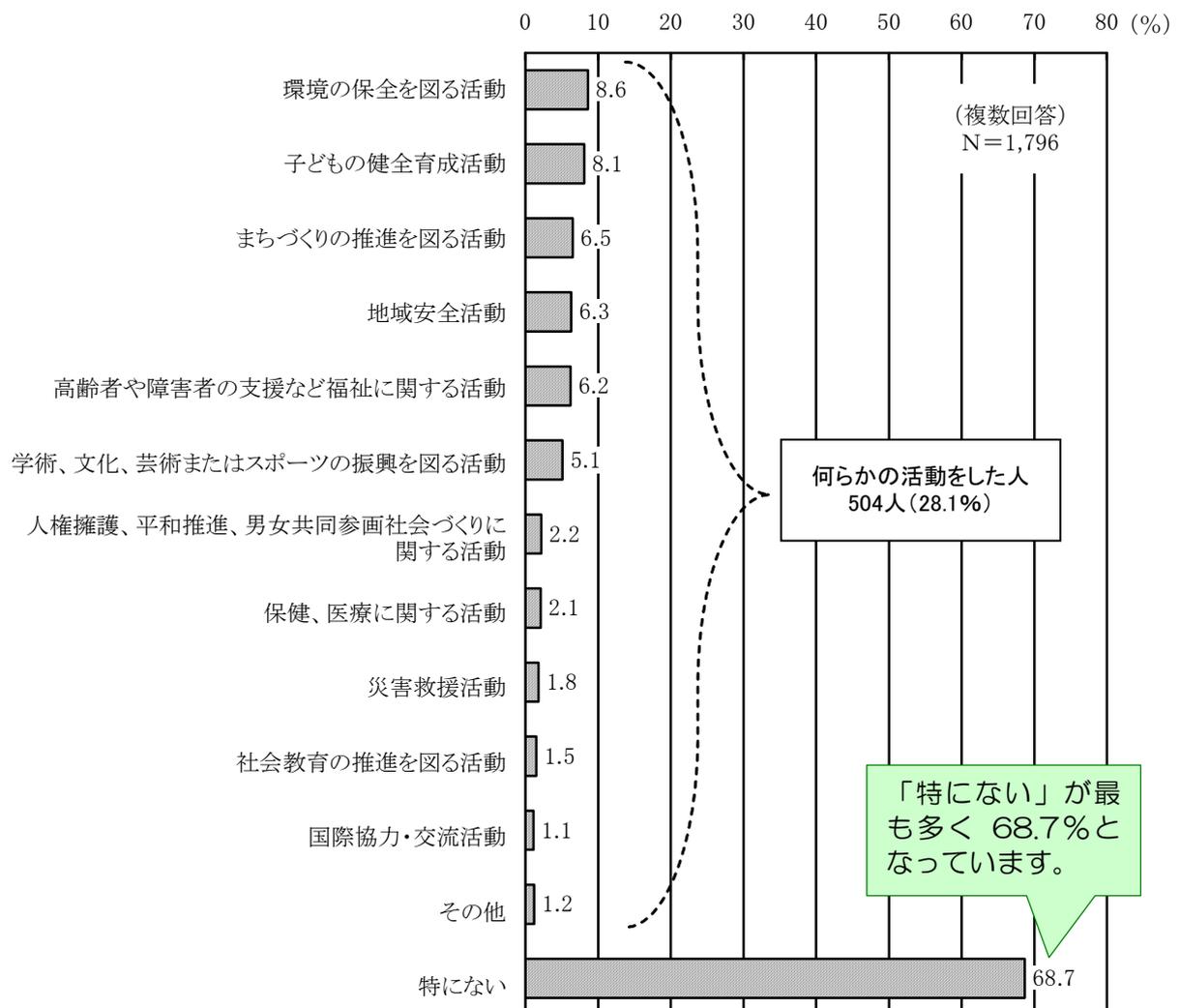
近年、社会のさまざまな課題に対して、市民が主体となって自主的に解決していこうとする活動が活発になっています。これらの活動には、ボランティア活動、NPO（民間非営利組織）活動、自治会・校区コミュニティ活動などがあります。

◎まず、上記の活動のうちボランティア活動（個人を中心とした活動）やNPO活動（組織体としての活動）についてお答えください。

(1) ボランティア活動やNPO活動の参加経験

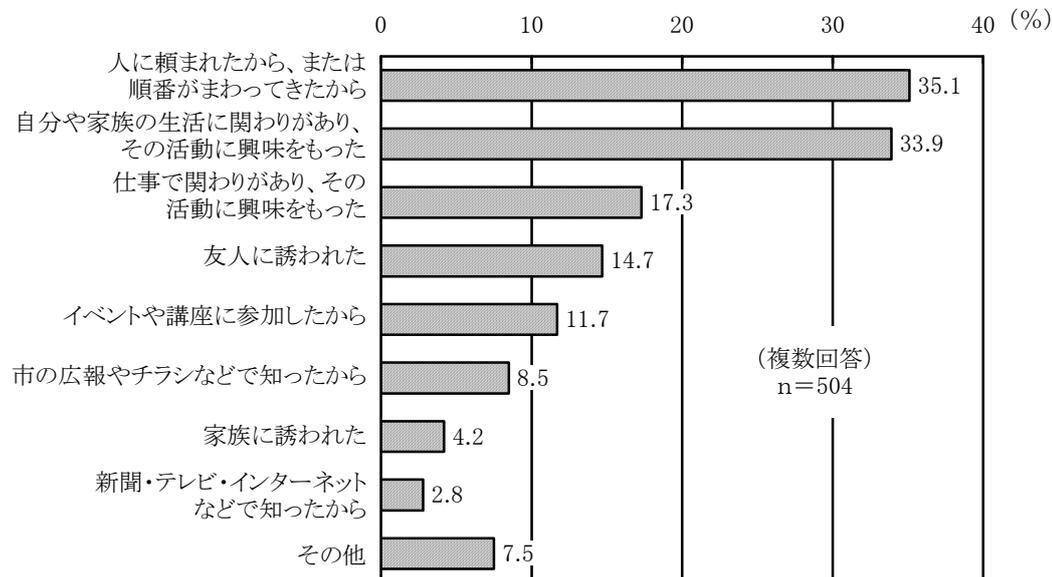
◆活動したことがある人は3割弱。

問 14 次にあげるボランティア活動やNPO活動のうち、この1年間であなたが**参加したもの**はありますか。あてはまるものをいくつでも選び、番号に○印をつけてください。



問 14 で「何らかの活動をした」人に

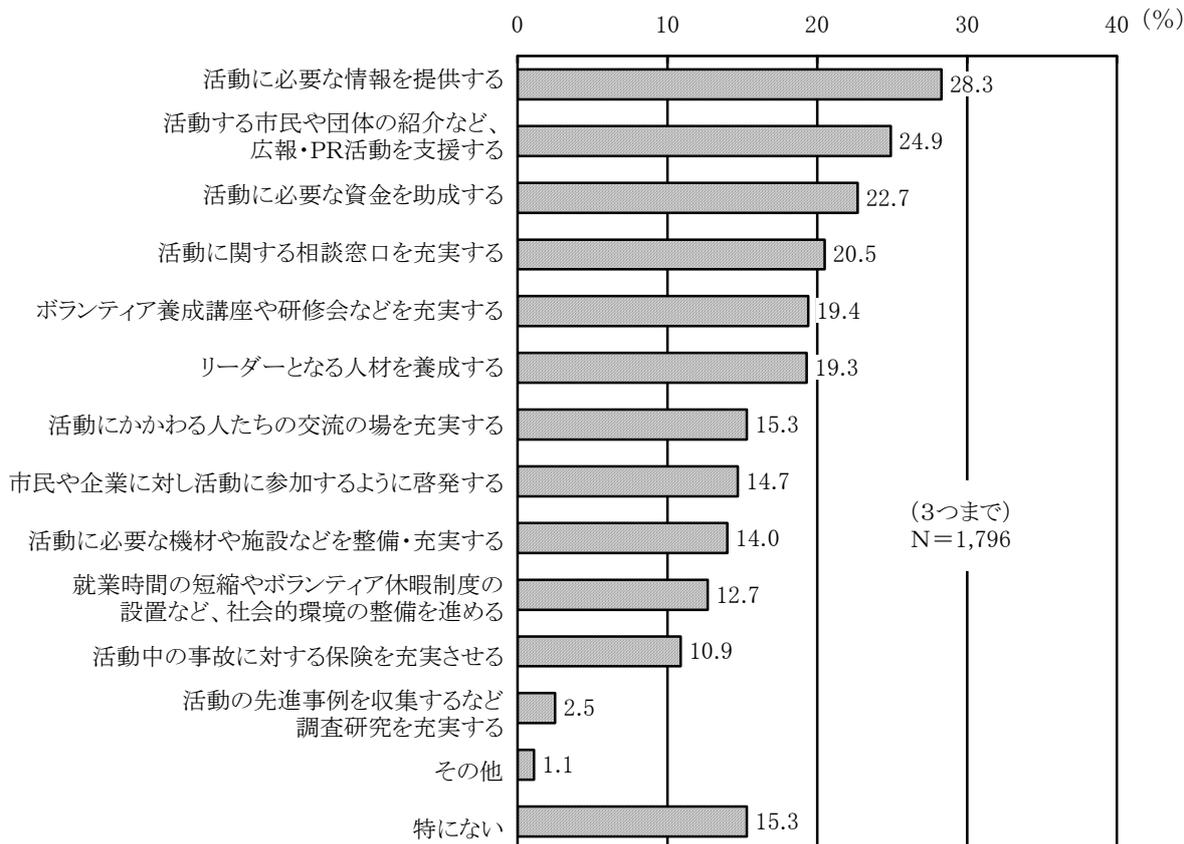
付問 1 あなたがその活動に参加したきっかけはどのようなものですか。次の中からあてはまるものをいくつかでも、選び番号に○印をつけてください。



(2) ボランティア活動やNPO活動が活発になるために行政が取り組むべきこと

◆「活動に必要な情報提供」、「広報・PR支援」が求められている。

問 15 今後、ボランティア活動やNPO活動が一層活発になるためには、行政はどのようなことを重点的に取り組むべきだと思いますか。次の中から 3つまで 選び、番号に○印をつけてください。

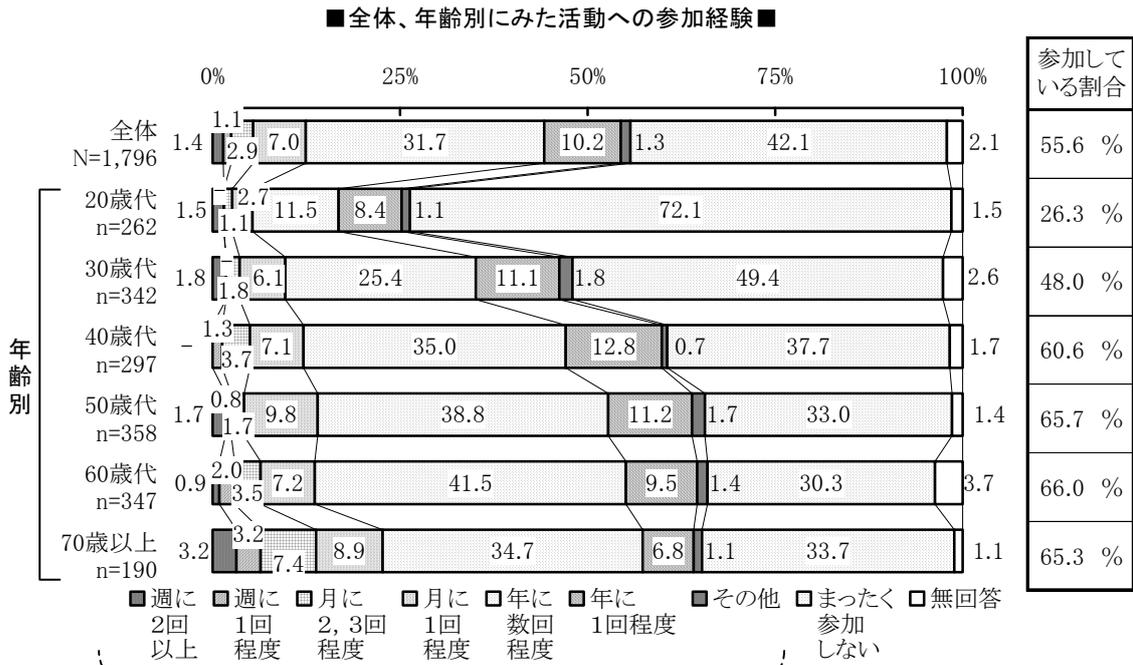


◎ここからはボランティア活動やNPO活動に加えて、自治会活動など地域で行われる活動（運動会、清掃活動など）も含めてお答えください。

(3) 地域で行われる活動（ボランティア・NPO・自治会活動等）の参加経験

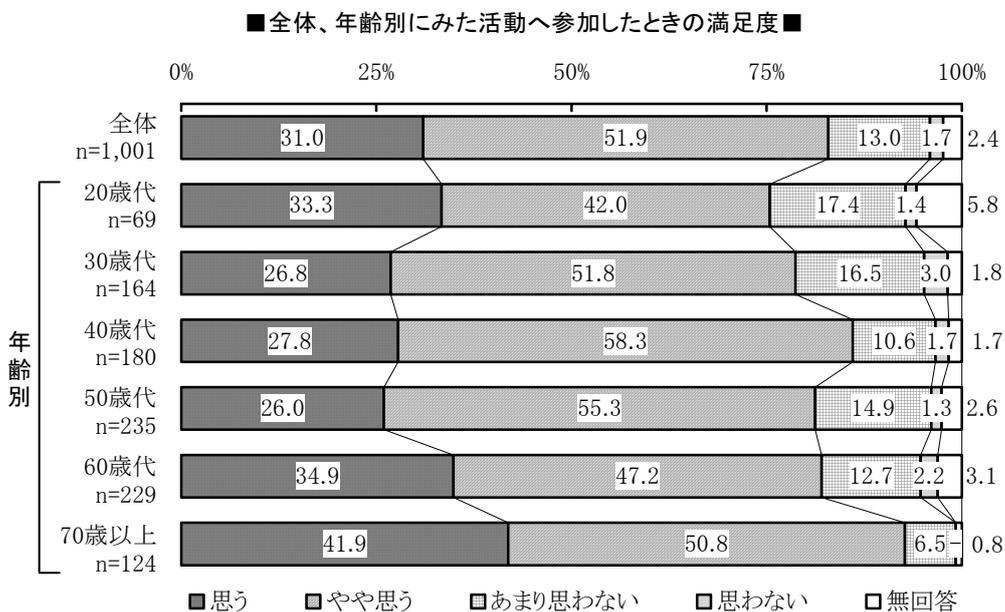
◆月1回以上活動している人は約8人に1人。

問 16 あなたは、こうした活動にどの程度参加していますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）



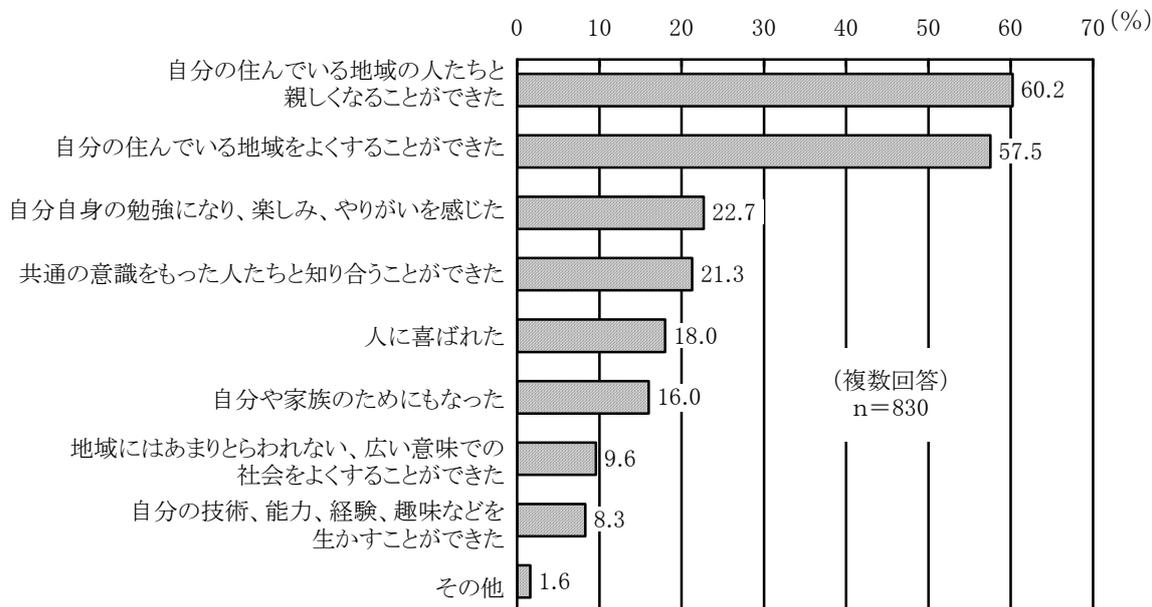
「参加している」人に

付問 1 こうした活動に参加して、よかった、役に立ったと思いますか。



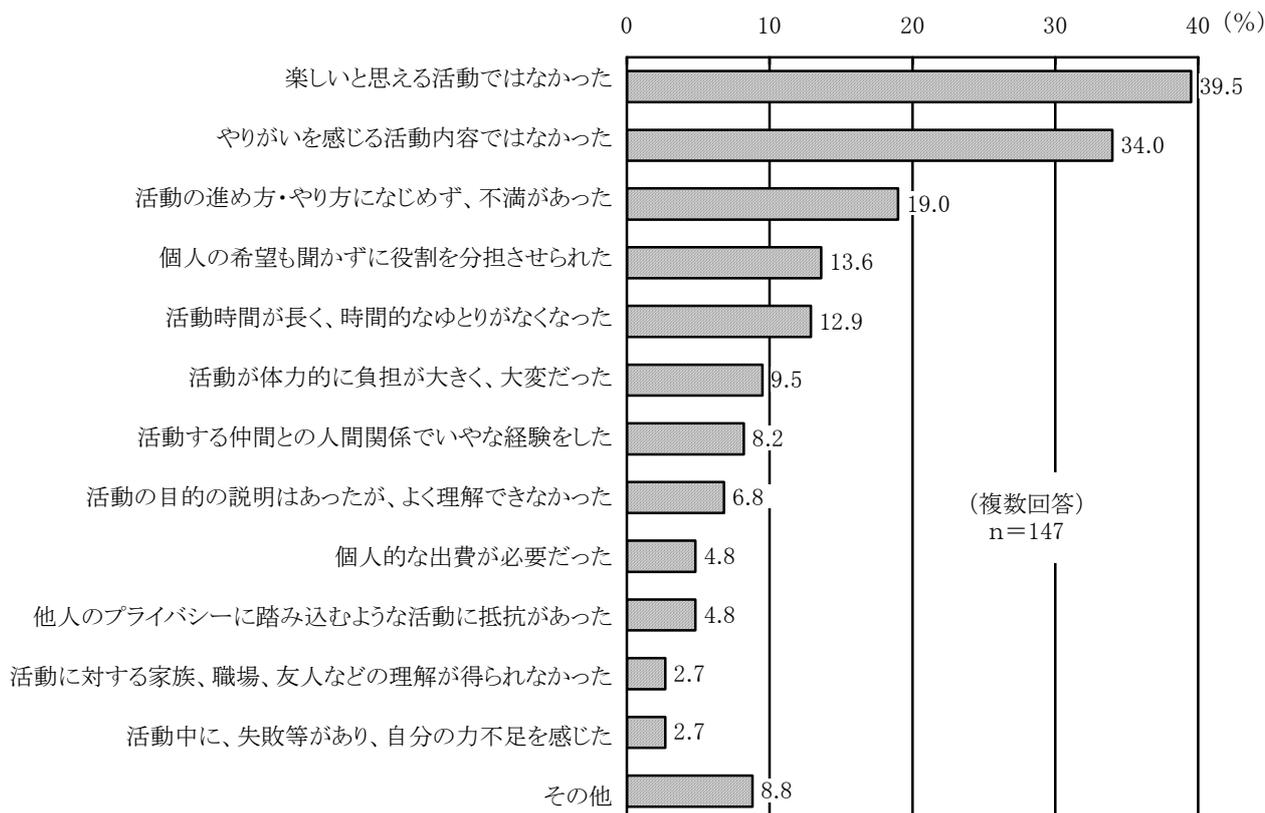
付問1で「思う」「やや思う」に回答した人に

付問2 こうした活動に参加して「よかった、役に立った」と思ったのは、具体的にどのようなことですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選び○印をつけてください。



付問1で「あまり思わない」「思わない」に回答した人に

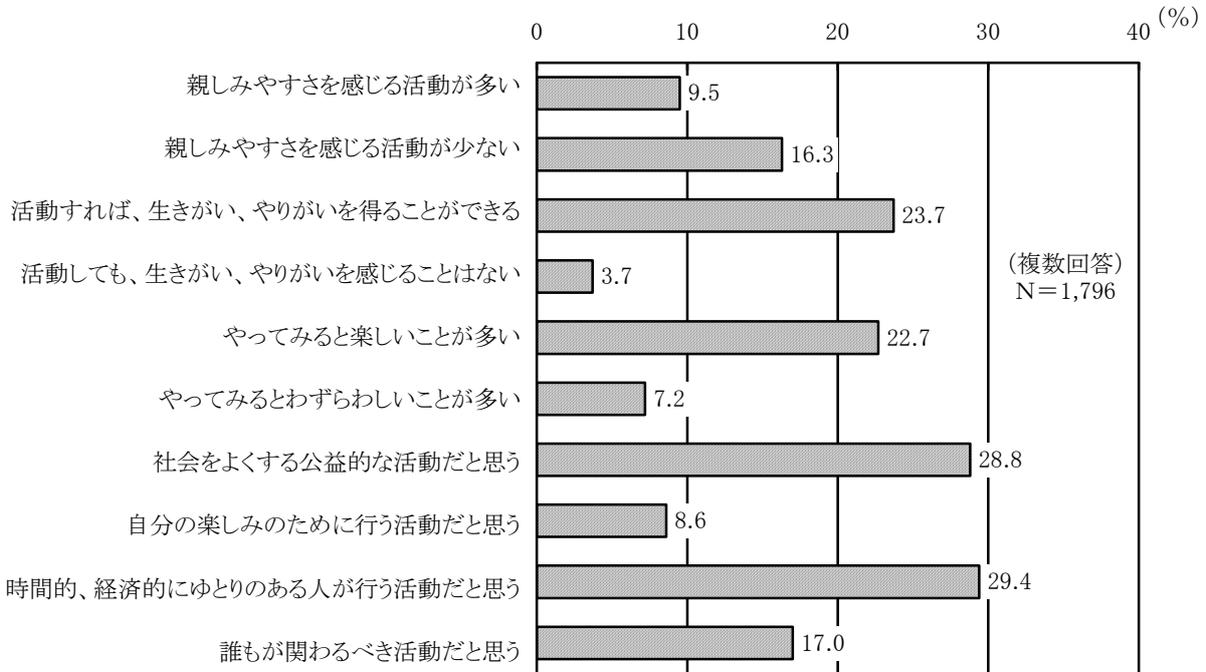
付問3 あなたはどのような理由で、活動について「よかった、役に立ったと思わない」とお感じになりましたか。次の中から主なものをいくつでも選び○印をつけてください。



(4) 市民による活動の印象

◆「ゆとりのある人が行う」、「公益的な」活動という印象が高い。

問 17 市民による活動について、あなたはどのような印象をお持ちですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選び、番号に○印をつけてください。

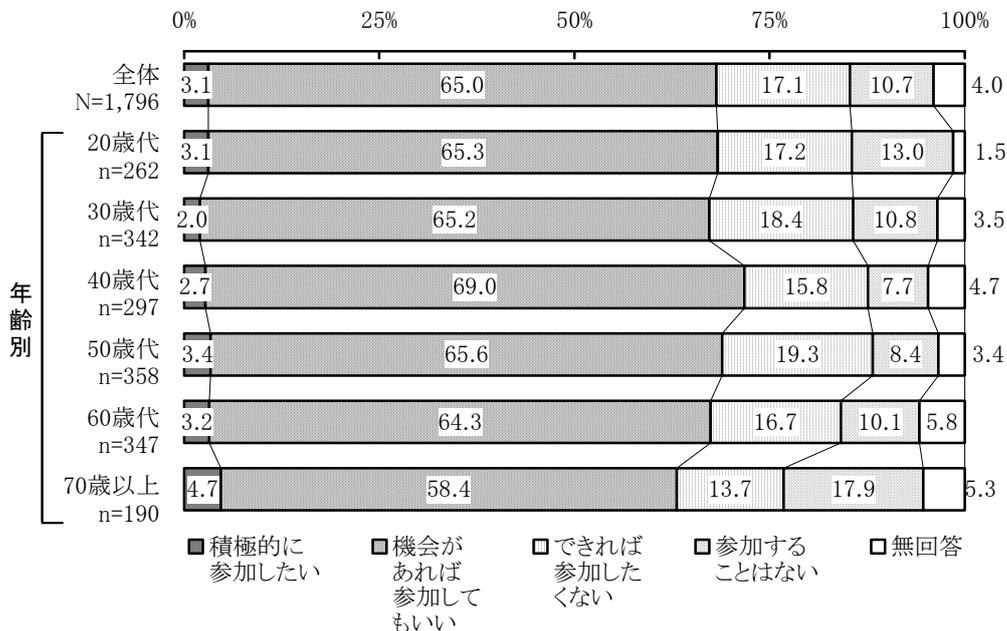


(5) 市民による活動への参加意向

◆「機会があれば参加してもいい」が約3人に2人。

問 18 あなたは今後、市民による活動について、どのように関わっていきたいと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

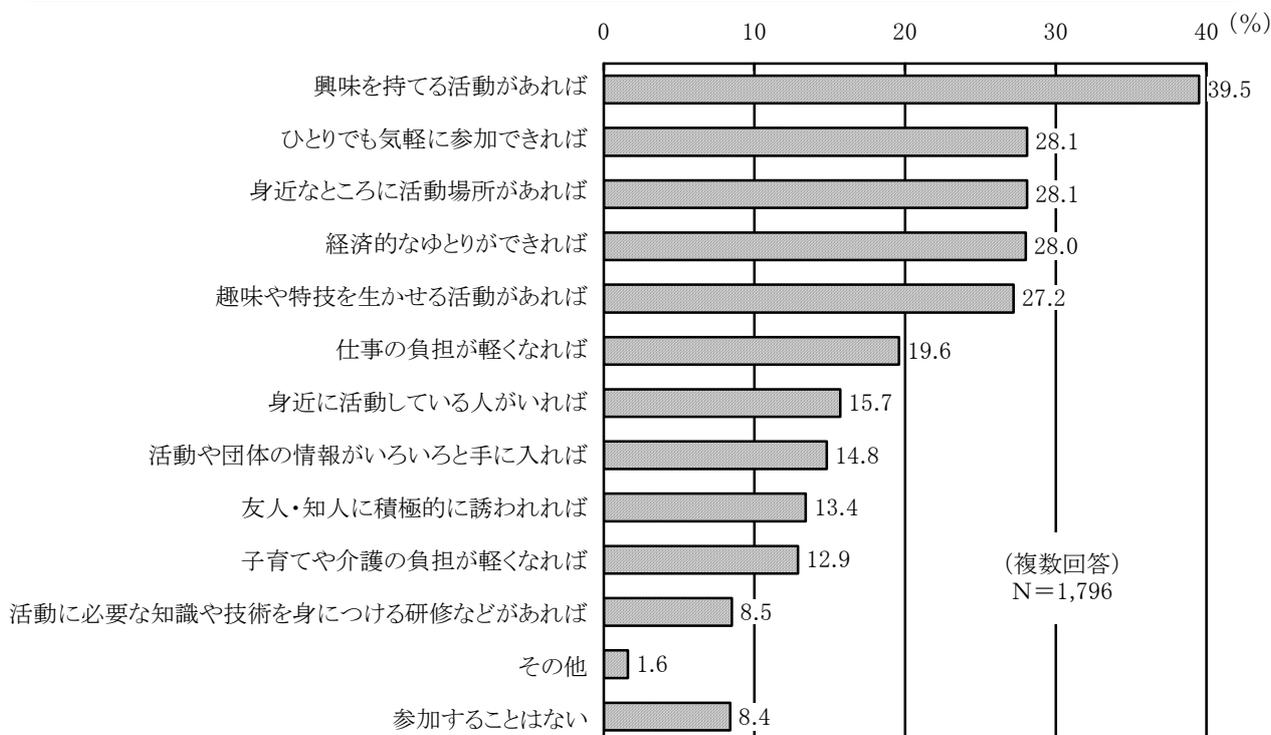
■全体、年齢別にみた市民による活動への参加意向■



(6) 市民による活動を活発にするには

◆「興味をもてる活動があれば」が約4割。

問19 どのようなことがあれば、あなたはこうした活動にもっと活発に参加できると思いますか。次の中からあてはまるものを いくつでも 選び、番号に○印をつけてください。

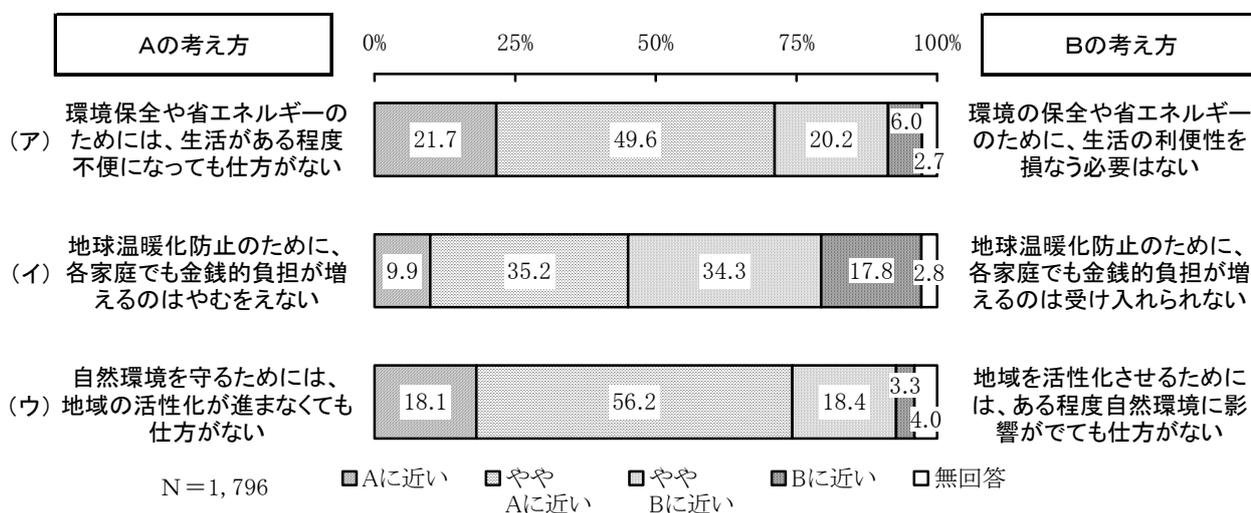


5. 環境

(1) 環境に対する考え方

◆『温暖化防止のため金銭的負担が増えてもやむをえない』が45.1%。

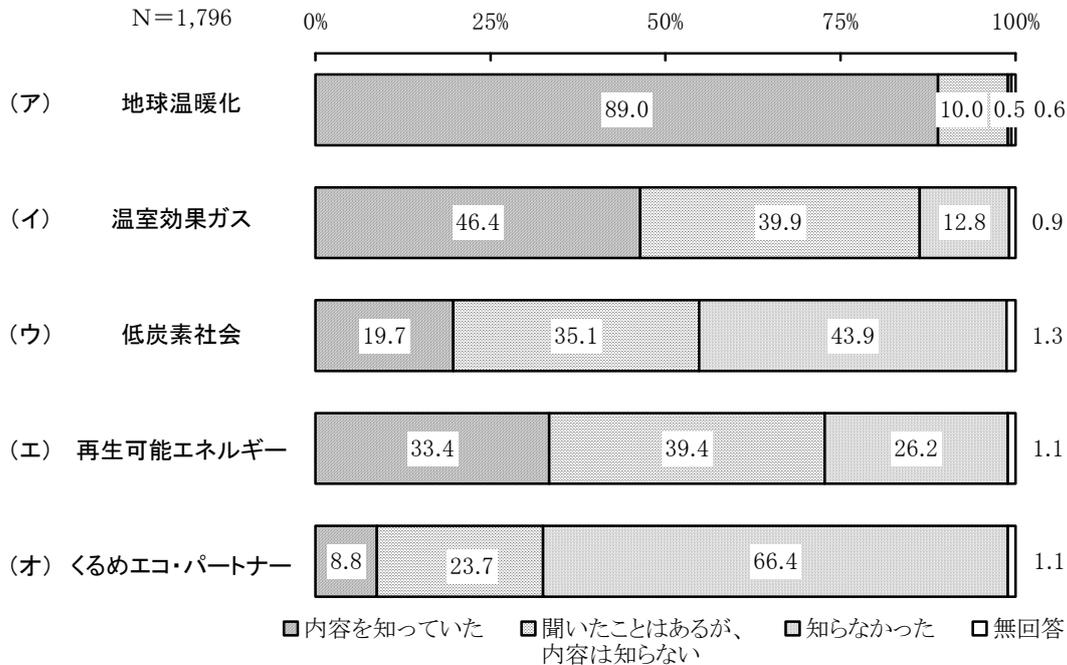
問21 環境に対する次の考え方について、あなたは〔A〕、〔B〕のどちらの意見に近いですか。次の項目ごとにそれぞれ 1つずつ 選び、番号に○印をつけてください。



(2) 環境に関する言葉の認知度

◆低炭素社会という言葉の内容を知っていた人の割合は約5人に1人。

問 22 あなたは、次にあげる言葉を知っていましたか。次の項目ごとにそれぞれ 1つずつ 選び、番号に○印をつけてください。



お知らせ

温暖化から地球を守るために…「くるめエコ・パートナー」

「くるめエコ・パートナー」とは？

省エネ・省資源、ごみ減量・リサイクルなど、みんなで環境にやさしい活動（エコ活動）に、できることから取り組んでもらうための制度です。「くるめエコ・パートナー」に登録して、この制度に参加しているお店に行くと、割引やプレゼントなどいろいろな特典を受けることができます。

参加資格は？

久留米市に居住、または通勤・通学している小学生以上の方で、市が定める「エコ活動」（全11項目）から3つ以上に取り組める方

【エコ活動項目の例】

マイバッグ・風呂敷を活用する、マイはしを活用する、照明をこまめに消す等

申し込み方法は？

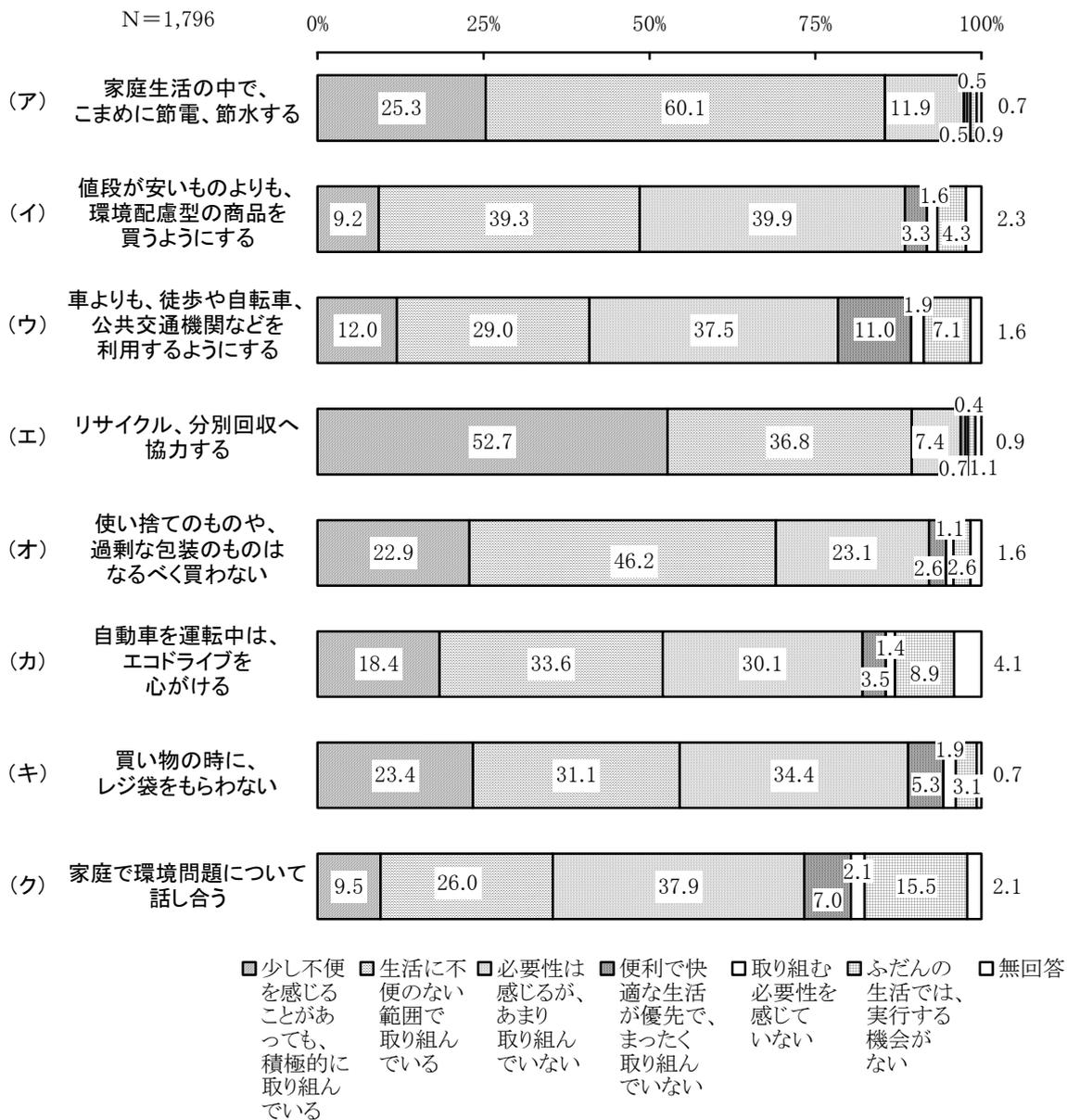
環境部環境政策推進課 TEL0942-30-9146、FAX30-9715 までお問い合わせください。



(3) 省エネ活動に取り組む意識

◆リサイクル、分別回収に『取り組んでいる』割合は約9割。

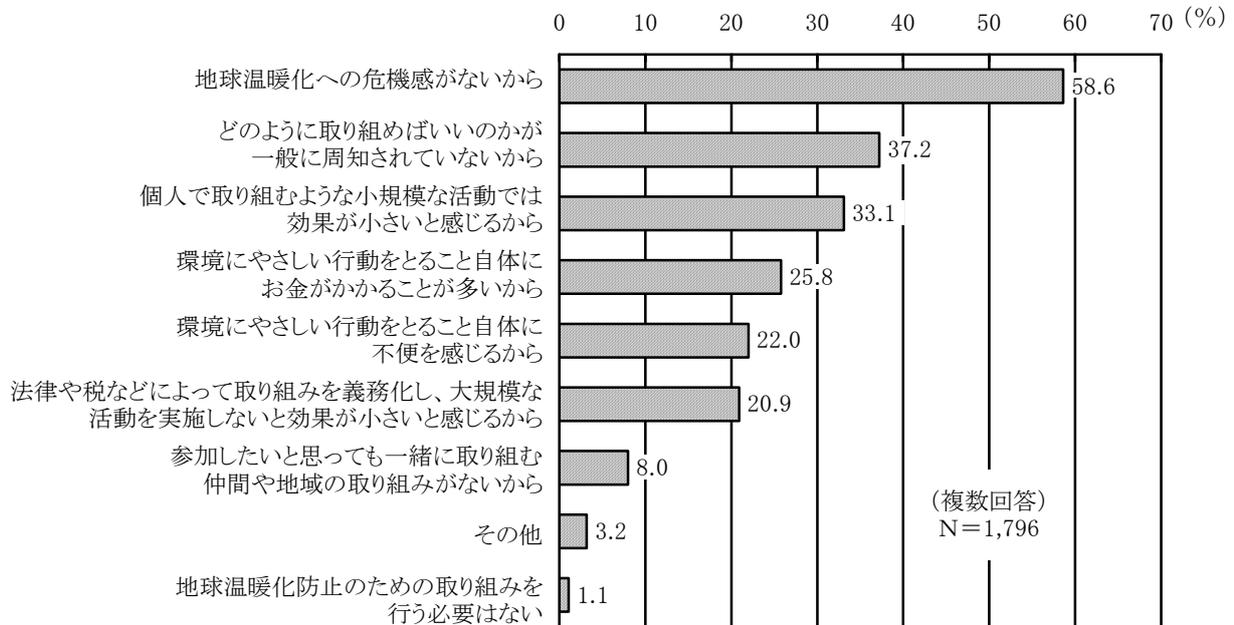
問 23 あなたは今後、次の（ア）～（ク）の省エネ活動にどのように取り組みたいと思いますか。あてはまるものをそれぞれ 1つずつ 選び、番号に○印をつけてください。



(4) 地球温暖化防止を進めるにあたっての障害

◆「危機感がないから」が6割弱で最も多い。

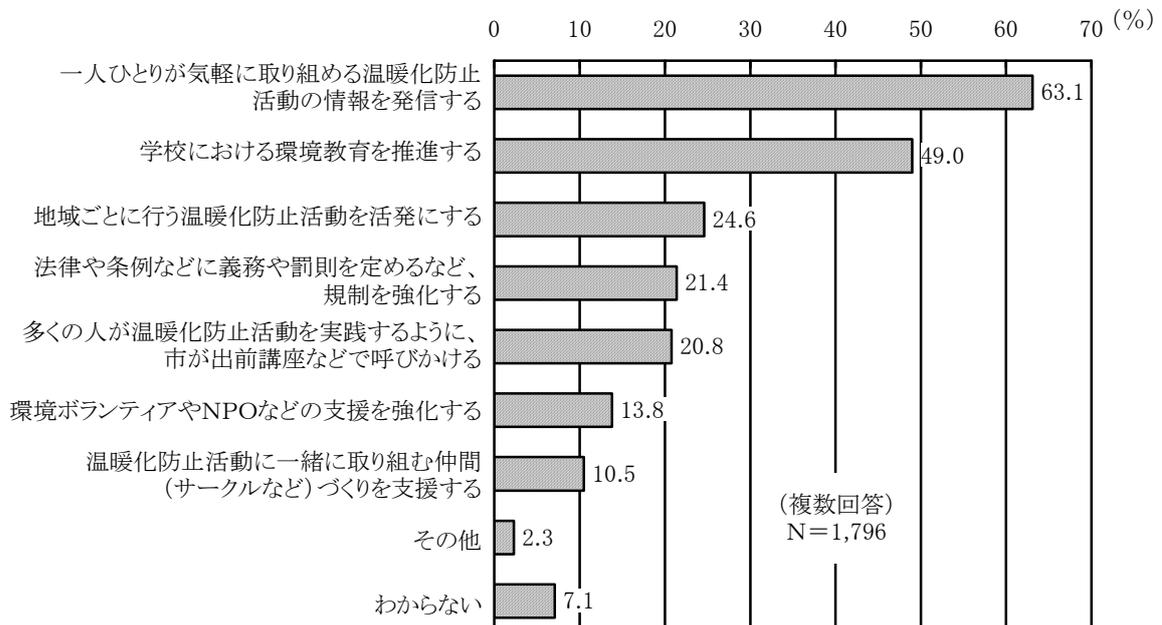
問 24 地球温暖化防止を進めるにあたって**障害**になっているものは何だと思えますか。次のうち特にそう思うものに いくつでも ○印をつけてください。



(5) 地球温暖化防止を進めるために行政が力を入れるべきこと

◆「気軽に取り組める活動の情報発信」、「学校での環境教育の推進」が求められています。

問 25 地球温暖化防止を進めるにあたって、行政はどのようなことに**力を入れるべき**だと思いますか。次の中からあてはまるものを いくつでも 選び番号に○印をつけてください。

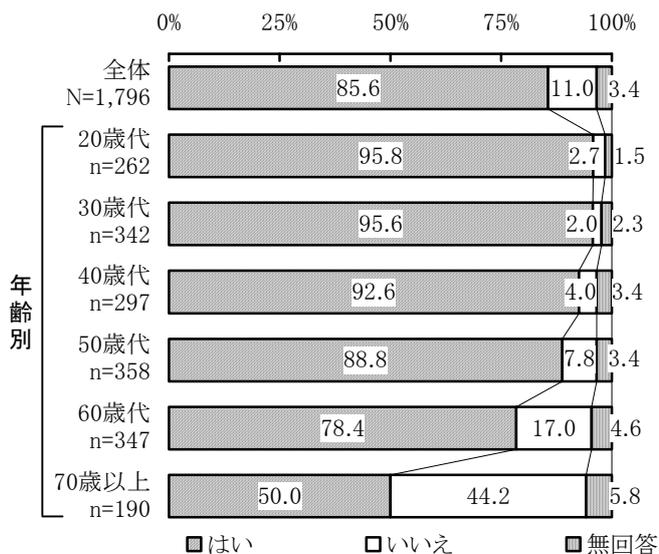


6. 基本属性

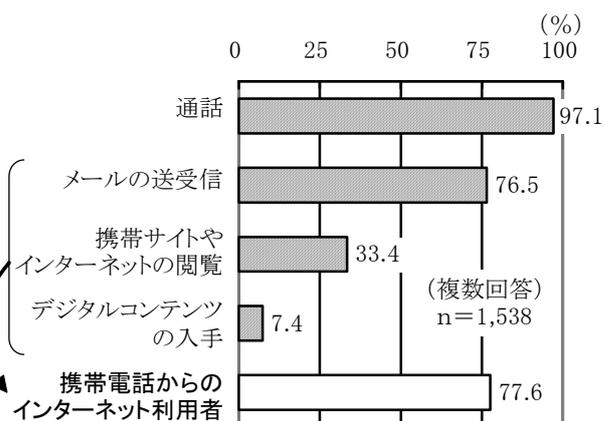
(1) 携帯電話の利用状況・目的

◆携帯電話利用率は8割以上。うち携帯でのインターネット利用率は8割弱。

問 26 あなたは、この1年間に**携帯電話**を利用したことがありますか。



付問1 (問26で「はい」に回答した人に)
次にあげるもののうち、あなたがふだん**携帯電話で行っているもの**をいくつかも選んでください。

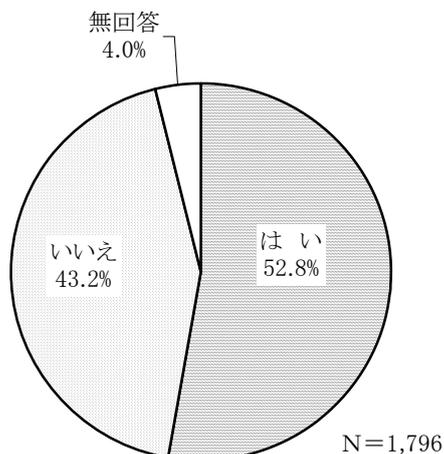


※「携帯電話からのインターネット利用者」
「メールの送受信」、「携帯サイトやインターネットの閲覧」、「デジタルコンテンツの入手」のいずれかを行っている割合

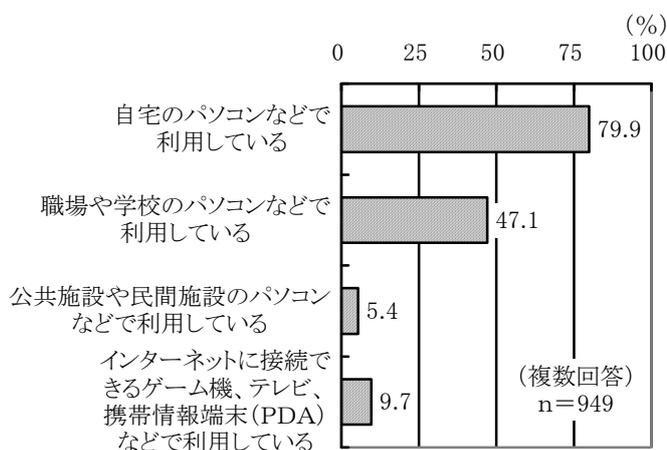
(2) インターネットの利用状況・頻度・目的

◆携帯電話以外でのインターネットの利用率は5割強。

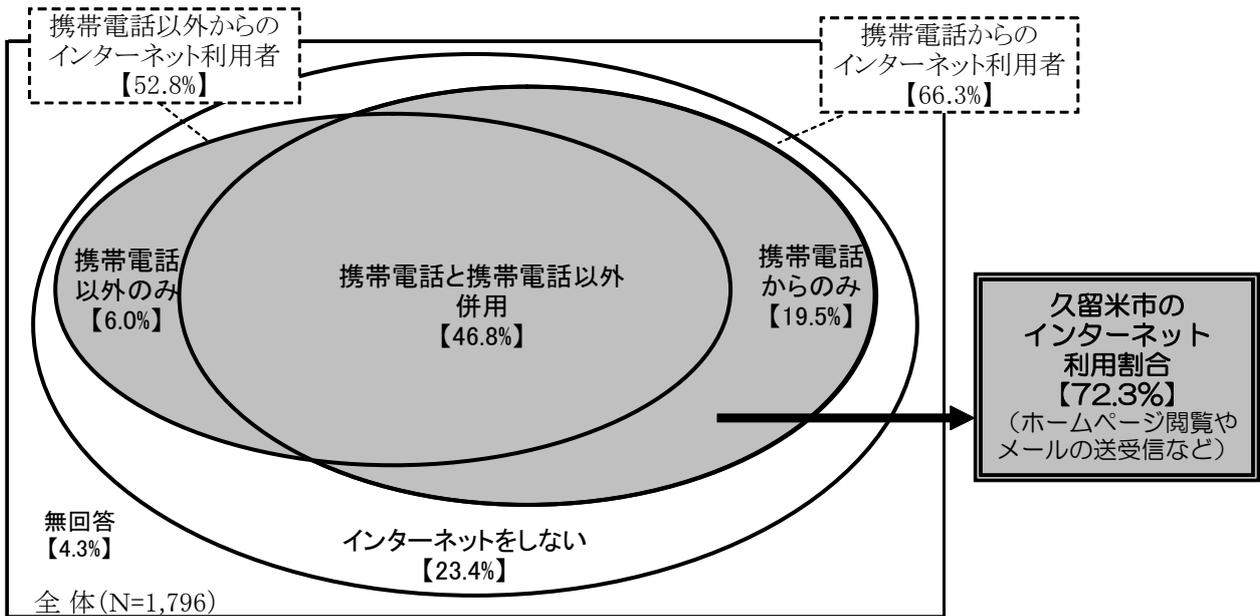
問 27 あなたは、この1年間に携帯電話以外で**インターネット** (ホームページ閲覧やメールの送受信など)を利用したことがありますか。



付問1 (問27で「はい」に回答した人に)
あなたはインターネットを**どのよう**にして利用していますか。(次の中からあてはまる番号にすべて○印)



●久留米市のインターネットの利用状況



●調査対象者の構成

N=1,796		回収数 (票)	比率 (%)
性別	男性	829	46.2
	女性	967	53.8
年齢	20歳代	262	14.6
	30歳代	342	19.0
	40歳代	297	16.5
	50歳代	358	19.9
	60歳代	347	19.3
	70歳以上	190	10.6
家族構成	単身	146	8.1
	夫婦だけ	337	18.8
	親・子	925	51.5
	親・子・孫	335	18.7
	その他	38	2.1
無回答	15	0.8	

「親・子」、「親・子・孫」、「その他」と答えた対象者に

n=1,298		回収数 (票)	比率 (%)
(子どもの複数回答状況)	未就学児	253	19.5
	小学生	256	19.7
	中学生	146	11.2
	中学生以下の同居人はいない	668	51.5
	無回答	120	9.2

N=1,796		回収数 (票)	比率 (%)
職業	農林漁業	44	2.4
	自営業	180	10.0
	給与所得者(常勤)	669	37.2
	パート・アルバイト(学生は除く)	268	14.9
	学生	43	2.4
	家事に専念している主婦(夫)	224	12.5
	無職	331	18.4
	その他	19	1.1
	無回答	18	1.0
	居住年数別	5年未満	322
5~10年未満		218	12.1
10~20年未満		340	18.9
20~30年未満		322	17.9
30~40年未満		285	15.9
40年以上		290	16.1
無回答		19	1.1
居住形態別		持ち家・一戸建て	1,207
	持ち家・集合住宅(分譲マンション)	77	4.3
	借家住宅・一戸建て	113	6.3
	賃貸住宅・アパート、マンション	344	19.2
	勤務先給与住宅(公務員住宅・社宅・寮など)	21	1.2
	間借り・同居、その他	32	1.8
	無回答	2	0.1

お知らせ

インターネットモニター事業のご案内

久留米市では、平成19年12月よりくるめ地域SNS・つつじネットの運用を開始し、インターネットモニター事業をスタートさせました。2、3ヶ月に1回のアンケートに回答するとポイントがもらえて、500ポイント貯まると図書カードなどに交換できます。

また、地域SNSの機能を活用し、防災、防犯の情報提供や学校給食の献立配信、広報くるめの情報の配信や、石橋美術館の企画展のレポーターなども実施しています。インフルエンザ情報などできるだけ早く伝達するように努めています。

パソコンからはもちろん、メールが使える携帯電話からも参加することができます。

関心がある方は、是非一度ご覧ください。

くるめ地域SNS・つつじネットアドレス：<http://tsutsuji-net.jp/>
(情報検索サイトで「つつじネット」で検索すればすぐに表示されます。)



第 33 回(平成 21 年度)
久留米市民意識調査報告書<<速報版>>

発行／久留米市企画財政部広報広聴課
久留米市城南町 1 5 番地 3
TEL. 0942-30-9015
FAX. 0942-30-9702
E-Mail. kouhou@city.kurume.fukuoka.jp